

世界報道 写真展 2016

7.11^{MON}7.24^{SUN}

◎世界報道写真大賞
スポットニュースの部 単写真1位

セルビアとハンガリーの国境を越えようとするシリア難民の男性と子ども。国境の有刺鉄線付きフェンスができてあがる前に、ハンガリー側へ渡ろうとする群衆の中にいた。ウォーレン・リチャードソン(オーストラリア)
2015年8月28日 レスケ(ハンガリー南部)

立命館アジア太平洋大学 (APU)

本部棟 2階 コンベンションホール

開館時間: 10:00~17:00(入館は16:30まで) 会期中無休 参観料: 大人500円/高校生以下無料

アクセス: JR別府駅(東口)より大分交通バス「APU行」にて終点「立命館アジア太平洋大学」下車、(西口)より亀の井バス「APU行」にて終点「立命館アジア太平洋大学」下車

■主催: 立命館大学国際平和ミュージアム、立命館アジア太平洋大学、朝日新聞社、世界報道写真財団 ■後援: オランダ王国大使館、公益社団法人日本写真協会、公益社団法人日本写真家協会、全日本写真連盟、大分県、別府市、大分県教育委員会、別府市教育委員会、NHK大分放送局、大分合同新聞社 ■協賛: キヤノンマーケティングジャパン株式会社 ■協力: 別府商工会議所、公益社団法人別府青年会議所、大分交通株式会社、亀の井バス株式会社 ■お問い合わせ: 立命館アジア太平洋大学 学長室 TEL.0977-78-1106 <http://www.apu.ac.jp/home/>

■公式サイト <http://www.asahi.com/event/wpph/> ■世界報道写真展 2016 ■公式Twitter 世界報道写真展 (@wppjapan)



世界報道 写真展 2016

沈黙が語る瞬間

オランダで毎年開かれる「世界報道写真コンテスト」。今年、世界各地の6千人近いフォトグラファーが8万点を超える作品を応募。その中から選ばれた大賞など約150点の入賞作品を紹介する「世界報道写真展」は、世界中でのべ350万人を動員する大規模な写真展です。今年の大賞は、警備隊に見つからないようフラッシュを使用できない月明かりの下、セルビアとハンガリーの国境を越えようとする難民の男性と子どもを撮影。写真からは、国境の有刺鉄線付きのフェンスができあがる前の緊迫した様子が伝わってきます。世界を駆け巡ったニュースや現代社会が抱える問題、スポーツの決定的瞬間など、同じ時代を生きる人たちの、普段目にすることが少ない現実を写真から知ることのできる貴重な展覧会です。



◎人々の部 組写真1位

1986年4月26日、チェルノブイリ原子力発電所で、非常に大きな原子力事故が起きた。事故からわずか5ヶ月後、チェルノブイリから南に10キロ程の町キエフで、少女が生まれた。少女はこの悲劇の被害者の一人となった。人知れず生きる少女の30年を追った。

小原一真(日本)
2015年6月30日 キエフ(ウクライナ)



◎スポーツニュースの部 単写真2位

仏週刊新聞「シャルリー・エブド」の襲撃に始まり、首都パリを襲った一連の事件後に起きた、反テロを訴えるデモ風景。コロンティン・フォーレン(フランス) 2015年1月11日 パリ(フランス)



◎現代社会の問題の部 単写真2位

自宅の隣にスーダン政府のアントノフ機による爆弾投下があり、7歳のアダム・アブデルは大きな火傷を負った。

エイドリアン・オーネシアン(米国)
2015年2月27日 中部タルフル州(スーダン)



◎日常生活の部 単写真1位

石炭火力発電所の近隣で三輪の車を引く男性。石炭燃料発電へ依存してきた歴史が、中国を世界の二酸化炭素(CO2)総排出量の約3分の1を占める国にした。科学者や環境問題専門家は、有害汚染物質は地球温暖化を引き起こす第一の要因だと指摘する。

ケビン・フレイヤー(カナダ, Getty Images)
2015年11月26日 山西省(中国)



◎人々の部 単写真1位

セルビア・ブレシエボの難民キャンプで難民申請の登録を待つ雨合羽をかぶった少女。マティック・ソーマン(スロベニア共和国)
2015年10月7日 セルビア共和国



◎スポーツの部 単写真2位

2015年の全米大学体育協会(NCAA)男子バスケットボールトーナメントのウィチタ州立大学対インディアナ大学戦において、ロン・ベイカーは、ニック・ゼイスロフトを超えてシュートを決めた。

グレッグ・ネルソン(アメリカ, Sports Illustrated誌向け)
2015年3月20日 ネブラスカ州オマハ市(アメリカ)



◎自然の部 組写真2位

不法な象牙密輸で利益を得ている武装グループ、象牙に関する争いの最前線で戦う人々、その影響を受けている人々の姿を追った。神の抵抗軍(LRA)の兵士が2本の象牙を抱えている。象牙は、LRAの食糧及び武器の資金源となる。

ブレント・スタートン(南アフリカ共和国, Getty Images, ナショナルジオグラフィック誌向け) 2015年1月7日 ザクマ(チャド共和国)